

～平成 28 年度七飯町海外交流派遣研修事業を終えて～

引率職員 総務部政策推進課交流推進係長 ^{にわた}庭田 ^{まさき}昌輝

平成 28 年 10 月 26 日から 11 月 5 日までの 11 日間の日程で、七飯町海外交流派遣研修事業の引率職員として、七飯町の姉妹町であるアメリカ・マサチューセッツ州コンコード町、およびニューヨーク市を訪れました。私にとっては平成 14 年の同事業に参加させていただいて以来、実に 14 年振りの訪問となりましたが、前回と違って今回は交流推進係という直接の業務担当者としての参加であり、14 年前とは違った意味で責任のある研修事業となりました。

今回の訪問団がこれまでと大きく異なるのは、町民代表派遣者の 3 名について、ホストファミリー経験世帯から公募の上、選考を行ったことです。この結果、3 名それぞれ明確な目的意識を持った素晴らしい人材が今年度の派遣者として選考されました。

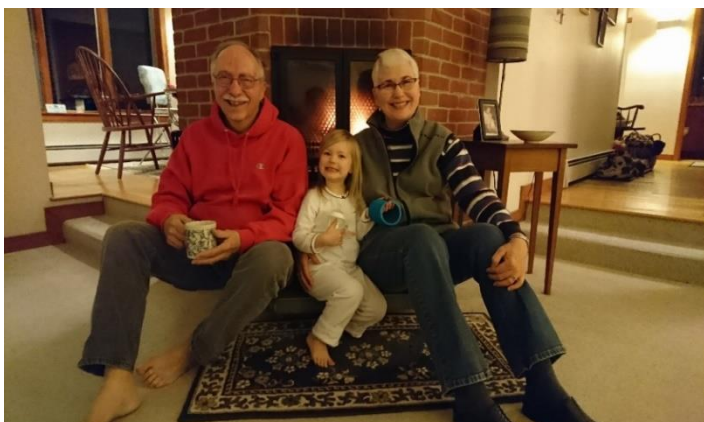
中高生派遣者については、例年、厳正な校内選考を勝ち抜いた優秀な人材が参加するのは当然なのですが、特に今年度の中高生については、コンコードカーライル高校（以下 CCHS）のデイヴィッド先生に「今年の学生達は今までで一番積極的で素晴らしい」と言わしめるほど、優秀な生徒達が選考されました。

さらに今年度の引率教員としては、CCHS との交換留学なども積極的に推進してくださっている七飯高校の名平校長先生、そして団長としては、自然科学分野の知識が非常に豊富で、温厚な人柄で頼りがいのある田中農業委員会事務局長が選ばれ、総勢 14 名の平成 28 年度海外交流派遣研修訪問団という素晴らしいチームが結成され、私もその一員となることができました。

今回の訪問団の優秀さは、事前研修会の段階においても既に明確に現れていました。特に、年齢、性別、立場などそれぞれ全く異なる集団であるにもかかわらず、すぐに全員が和気あいあいと打ち解けたことは、海外で過ごすにあたって最も重要な要素のひとつである「社交性」を全員が高いレベルで持ち合わせていることの証明でもあり、非常に心強く感じました。

出発当日の朝、函館空港には期待と希望で目をキラキラと輝かせた訪問団が集合し、高揚した雰囲気の中で出発式が行われました。出発ゲートを越えた直後は若干の寂しさや不安も見受けられましたが、羽田空港からリムジンバスを乗り継ぎ、出国手続きを済ませて成田空港を離陸する頃には、皆の気持ちは完全に U.S.A へと向いていました。途中、機内からオーロラを鑑賞できる機会にも恵まれるという非常に稀で幸先の良い出来事もありました。ボストンローガン空港に到着し、長時間のフライトによる疲れもあったのか、入国審査で多少手間取る場面もありましたが、最終的には全員無事にパスすることができました。ロビーに出るとそこには日本語で「ようこそコンコードへ」の横断幕とともにたくさんの方々

がお出迎えにいらしており、中には懐かしい方々や見慣れた方々の顔もちらほらと見え、非常に嬉しく感じられました。空港の外でアメリカの空気を吸い込んでから、スクールバスにて CCHS へ移動し、期待と緊張のホストファミリー対面式となりました。私のホームステイ先は前回と同じジャック&ナンシー宅でしたので、14年ぶりとなる感動の再会となりました。



ジャック&ナンシー&孫娘ルーシア

で、14年ぶりとなる感動の再会となりました。

かくして7泊8日のホームステイ生活が始まりましたが、幸運なことに私のホストファミリーはジャック・ナンシーの他に、現在オランダ在住の娘夫婦とその4歳の女の子が帰省する時期と偶然重なったため、終始賑やかで非常に楽しく過ごすことができました。

コンコード滞在中は、日中は町内および近郊のさまざまな施設等の見学ツアー、夜はパーティーなどを催していただき、非常に有意義な研修と密接な交流ができました。大人はそれぞれの職業に合わせた個別のツアーを組んでいただいたり、中高生は CCHS 高校の授業に参加するだけではなく、折り紙や茶道のプレゼンテーションをしたり、地元のテレビやラジオにゲスト出演させてもらったりと、非常に充実した日々を過ごすことができました。また、コンコード・七飯・ネットワーク代表のトム・カーティンさん宅を訪れ、七飯町功労者表彰の表彰状と記念品を無事お渡しして、奥様のスーザンさんも交えて来年の姉妹都市提携20周年記念事業についてお話をすることもできました。

あっという間にコンコードでの8日間が過ぎて出発の朝となり、デイヴィッド先生の「Bye-YO-NA-RA」とともに皆で涙のお別れをし、貸切バスにてニューヨークへと向かいました。

ニューヨークのホテルにチェックイン後、一部のスーツケースが部屋に届かず行方不明となるトラブルがありましたが、その夜には無事届き、2泊3日のニューヨーク視察研修も存分に堪能できました。自由の女神、国連本部、グラウンドゼロなどは言うまでもなく特別で印象的な場所でしたが、ニューヨーク市内で14年前と大きく様変わりしていて私が一番驚いたものは、タイムズスクエア周辺のビルの壁面を埋め尽くす巨大なディスプレイ群でした。無数にある巨大画面のそれぞれがCMやニュース



タイムズスクエアの巨大ディスプレイ群

などの映像を無秩序に休むことなく放映し続け、そこから色や形を刻々と変えながら放たれるたくさんの強烈な光が大都会の雑踏を照らしている光景は、まさに「世界の中心」という雰囲気を感じられるものでした。

JFK 空港から成田への 15 時間のフライトも難なく乗り越え、リムジンバスと国内便を乗り継いで全員が無事に函館空港へ到着することができました。

あっという間に過ぎ去った 11 日間でしたが、大きなトラブルもなく体調を崩す人も出なかったことが何よりも一番喜ばしいことでした。中高生からは「絶対にもう一度コンコードに行く！」「将来、長期間の留学をしたい！」「これからはもっともっと英語を一生懸命勉強する！」など嬉しい言葉を聞くこともできました。

この研修事業によって、両町の姉妹都市交流を更に深めることができ、また来



最高のチーム

年の姉妹都市提携 20 周年記念事業に向けての良い足掛かりとすることができました。私自身も今回の訪問を通して、コンコード町との交流の素晴らしさを改めて実感でき、同時にその手段としての英会話能力の重要性を痛感させられました。そして七飯町の職員として、今後も両町の交流を推進するため自ら努力を続けていこうと決意を新たにしました。

最後に、この研修に参加

させていただいたこと、およびコンコード町の人々の心温まる歓待に心より感謝を申し上げます。この研修が私自身の人生において大きなプラスとなったことを確信するとともに、私が得たものを七飯町・コンコード町両町に還元していくために、コンコード町でお世話になった方々との連絡を絶やすことなく、両町の交流の架け橋のひとつとなって貢献していきたいと思えます。